

平成31年3月5日

保護者の皆様へ

苫小牧市立苫小牧東小学校
校長 松橋 忍

学校評価の結果について

早春の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

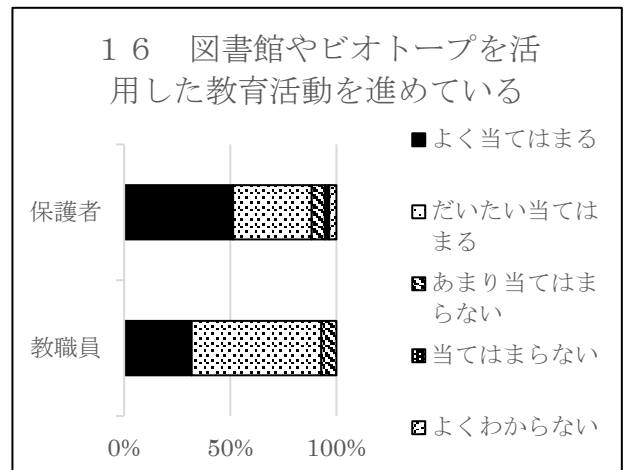
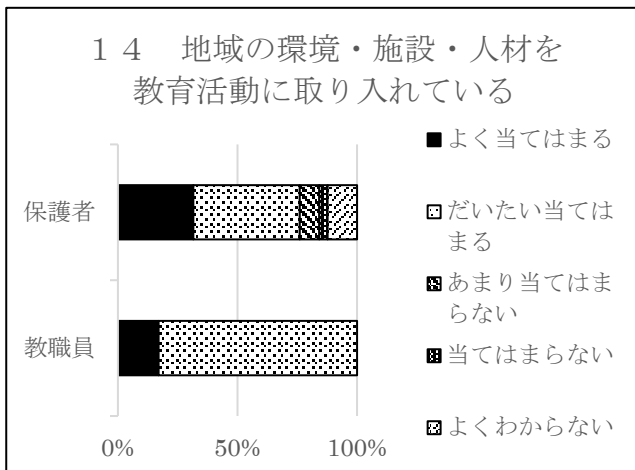
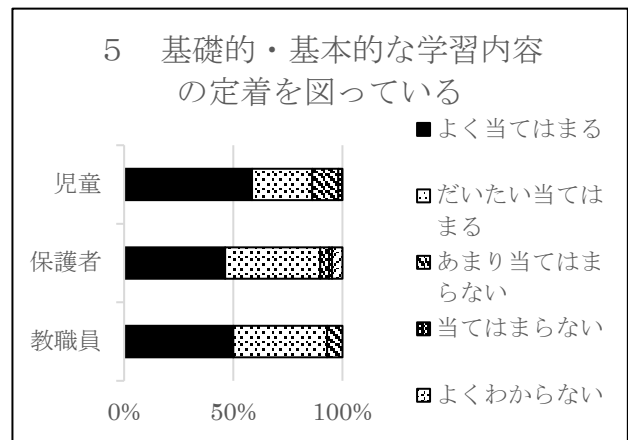
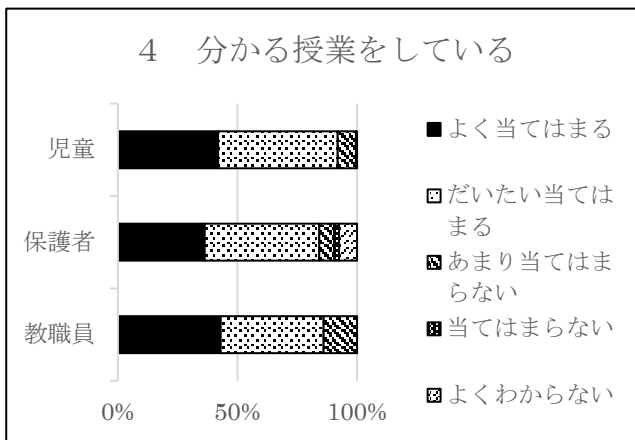
さて、今年度も保護者アンケート、児童アンケート、教職員における自己評価を実施し、課題をあげ改善策を検討しました。

その後、今後の方向性が妥当であるか、学校評議員、学校関係者評価委員の皆様へ評価していただき、今後の学校運営改善のための指針とさせていただきました。

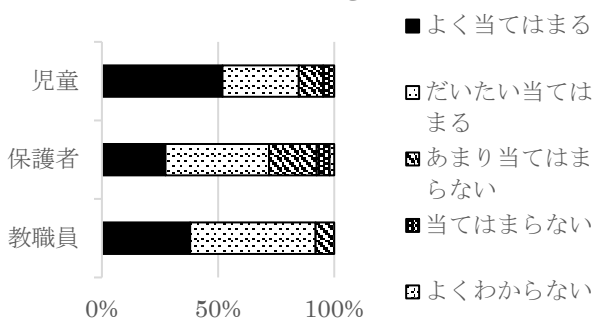
つきましては、今年度の学校評価について、各種アンケートの結果及び、今後の取組についてお伝え致します。保護者の皆様をはじめ、ご協力いただきました関係各位に、心より感謝申し上げます。

<学校評価各種アンケートの結果>

1 確かな学力について



20 家庭学習にしっかり取り組んでいる



○ 保護者アンケートの記述

- ・楽しい気持ちで登校でき、勉強嫌にならない雰囲気のある学校を希望。

○ 学校関係者評価委員から

- ・習熟度別少人数指導など、子どもの学ぶ意欲を高める指導が行われている。
- ・メディアなどの課題がある。学校と家庭が一層連携して、学習習慣・生活習慣を確立する必要がある。

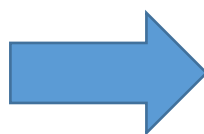


○ 改善の方策

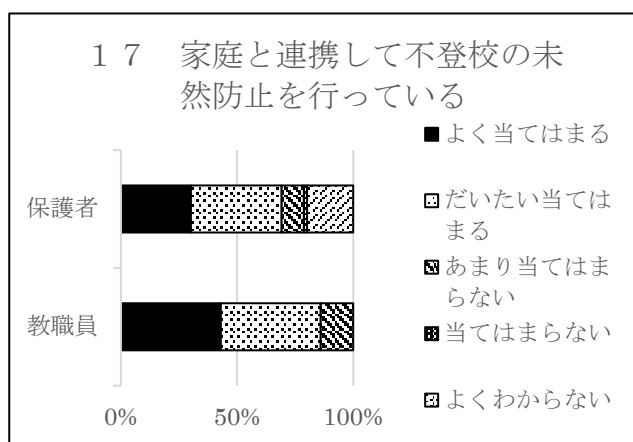
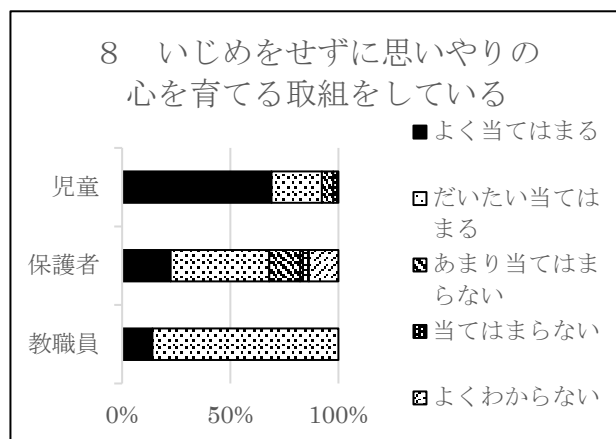
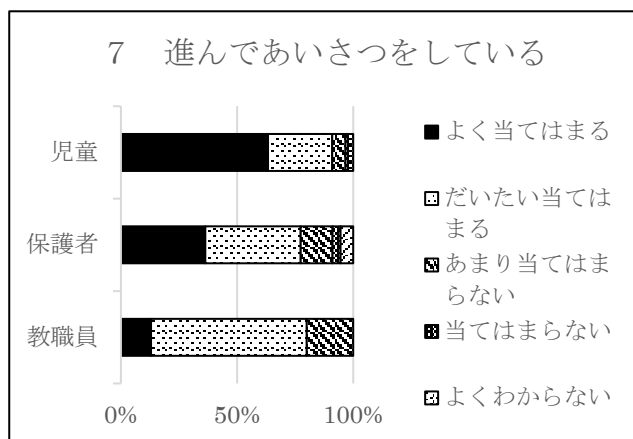
- ・11月に、開校100周年記念公開研究会を実施し、高い評価を得ることができました。授業改善の取組を今後も継続していきます。
- ・授業時数増加にともない、授業の準備の時間が減少している状態です。日課表を工夫するなど、授業準備にあてる時間を少しでも確保し、授業の質を高めていきます。
- ・家庭学習強化週間・ノーメディアデーの設定など、家庭での学習週間確立を目指した取組を進めてきました。家庭の協力なくして学習習慣の確立は困難です。ご家庭の協力をお願いします。
- ・「Air Do 航空教室」、「障がい者スポーツ体験」をはじめとする福祉に関する学習など、施設・人材を活用した学習を進めてきました。今後も、可能な限り実施していきます。
- ・ビオトープの活用を中心とした環境教育を今後も推進していきます。また、学校司書の配置や図書ボランティア、読み聞かせサークルの協力もあり、読書環境が整ってきました。今後も協力をお願いします。

【参考 授業時数について】

平成30年度		平成31（2019）年度	
1年生	850（25）	1年生	850（25）
2年生	910（26）	2年生	910（26）
3年生	960（27.4）	3年生	<u>980（28）</u>
4年生	995（28.4）	4年生	<u>1015（29）</u>
5年生	995（28.4）	5年生	<u>1015（29）</u>
6年生	995（28.4）	6年生	<u>1015（29）</u>



2 豊かな心について



○ 保護者アンケートの記述

- ・「17」に関してはよくわかりません。
- ・挨拶については、知らない大人という判断からか、こちらがしても返してくれない子どもたちがいます。難しい判断かもしれませんが、いつも見かける地域の人たちに挨拶すべきだと思います。
- ・乱暴な男の子が多数いて時々心配になる。(けったりなぐったりを強くする)

○ 学校関係者評価委員から

- ・あいさつは、人間関係を築くための基本である。あいさつをはじめとする基本的な生活習慣について、学校だけではなくPTAをはじめとする家庭との連携が重要である。

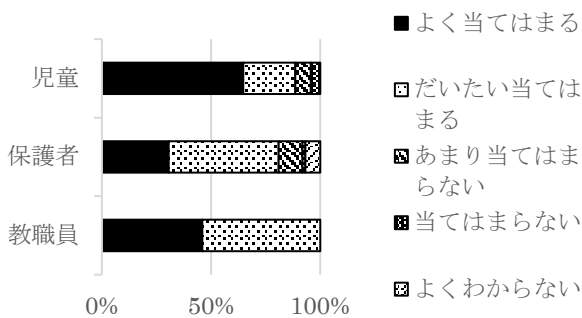


○ 改善の方策

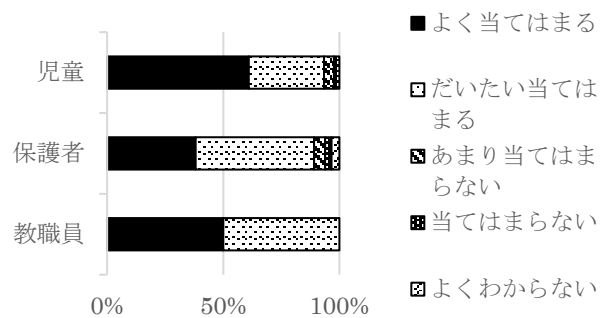
- あいさつは昨年度からの課題となっており、学校での指導や児童会が中心となったあいさつ運動も展開してきました。今後も継続した指導を行っていくとともに、学校・家庭・地域がともに活動できる方策を模索していきます。
- いじめの問題については、アンケートや職員全体での見取りなど、アンテナを高くして対応してきました。家庭との情報共有が今後も必要であるため、学校・家庭が協力しながら今後も取組を継続していきます。また、学校は「いじめ」「暴力」は許さないという姿勢で指導にあたっています。今後も粘り強く指導していきます。
- 不登校の問題は、取組の発信に限界はありますが、今後も家庭と連携して子どもに寄り添った対応していきます。

3 健やかな体について

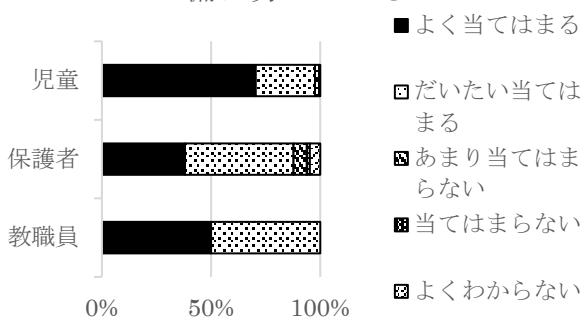
9 実態に応じた体力づくりを進めている



10 実態に応じた健康指導に努めている



11 学びの場としての環境整備に努めている



○ 保護者アンケートの記述

- サッカー教室があるとよいと思います。スポーツができる環境がもう少し増えるといいと思います。
- 子どもの体調などを理解してくださり、大変ありがたいです。ありがとうございます。
- 家庭学習強化週間のときに、生活リズムチェックもあるとよいなと思います。

○ 学校関係者評価委員から

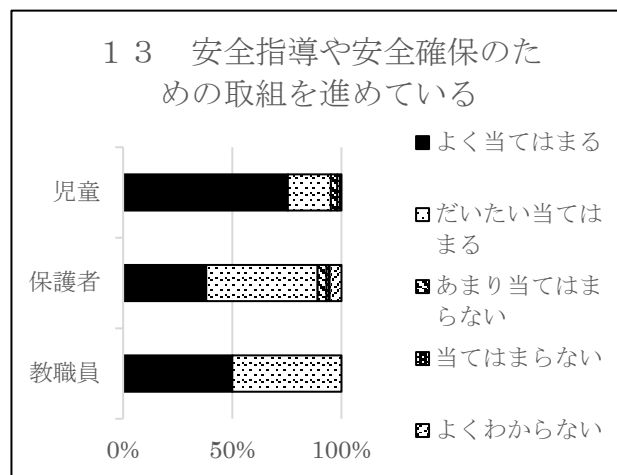
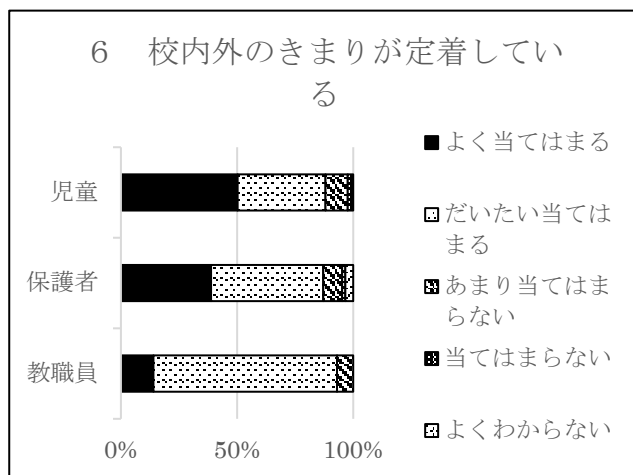
- ・環境づくりなど学校の努力がみられる。
- ・食の豊かさなどを考えると給食のメニューの改善が必要ではないか。



○ 改善の方策

- ・なわとびの取組や冬季間の体力向上コーナーの設置など、全校的に継続した取組が評価につながっていると思われます。また、全国体力・運動能力・運動習慣等調査においても成果が現れています。今後も取組を継続していきます。
- ・保健指導についても、子ども一人一人のニーズに応える対応をしてきました。心身ともに健康に過ごすため、今後も丁寧な対応を継続していきます。
- ・スポーツのできる環境づくりについては、学校として体育の学習をはじめとして、現在取り組んでいる体力づくりを継続していきます。
- ・生活リズム調査と家庭学習強化週間については、一緒に実施するメリットもありますが、年間をとおして子どもたちに継続的に学習・生活習慣についての意識を高めていくために、同様の方法で実施させていただきます。

4 安全・安心について



○ 保護者アンケートの記述

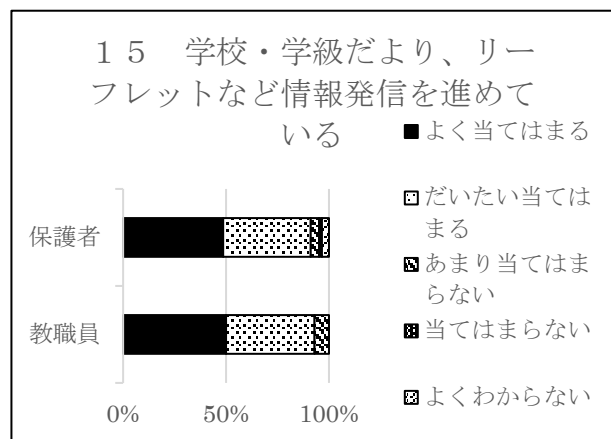
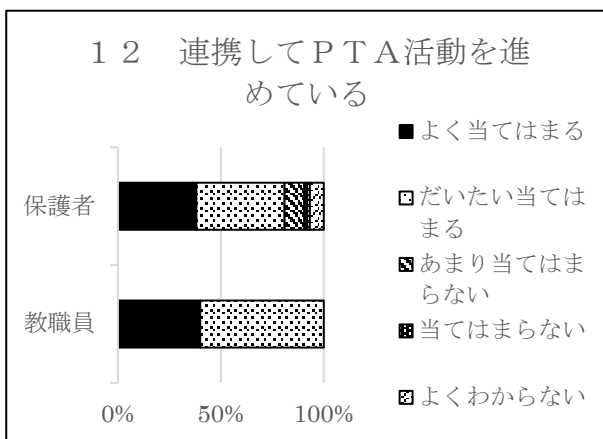
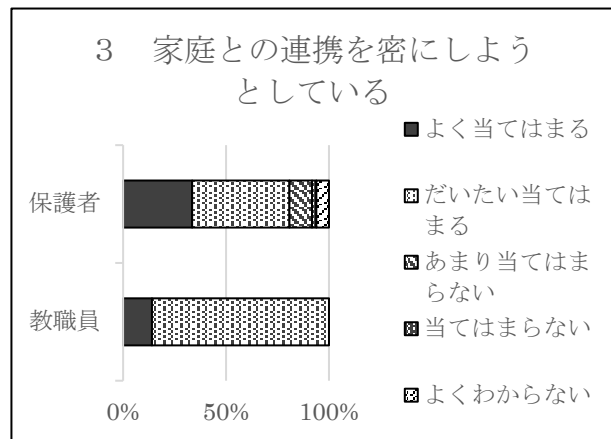
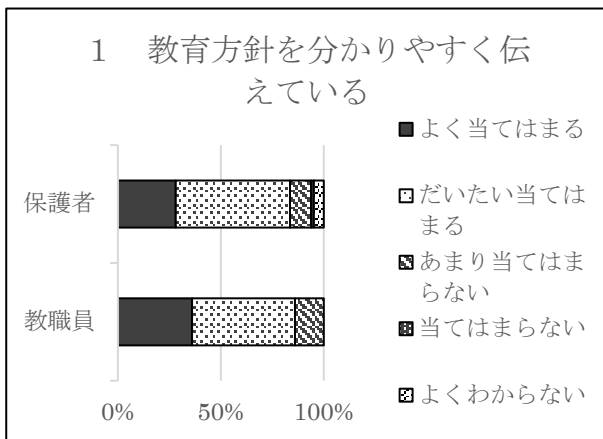
- ・登下校時に記名章をつけたままというのは安全面からどうなのでしょう。
- ・帰宅時刻をしっかり守る習慣、自転車で行ってもよい範囲、横断歩道のルールなど、きまりの徹底がなされていると感じます。
- ・下校時、子どもが飛び出しているのをよく見かけるので、信号があればと思いました。もしくは、先生が一人でも立っていたら安心です。



○ 改善の方策

- 登下校、校外生活については、保護者や地域の皆様の協力があって、安全に過ごすことができている。また、PTA 校外委員による交通安全指導、地域安全ボランティアによる一斉活動日を今後も継続してもらえようお願いします。学校では校区内巡視など定期的に校外生活の様子を把握していますが、毎日、校外指導にあたることは難しい状況となっています。保護者・地域の皆様の一層の協力をお願いいたします。
- 校外のきまりを守れていない子どもたちもいます。その際は、ぜひ、その場で指導をお願いします。その後、学校へ一報いただくと助かります。
- 記名章については、校内でつけることは継続していきますが、校外での使用については、不審者の遭遇、子どもが事故にあったときの対応等を考慮し、今後、詳細な対応をつめていきます。

5 家庭との連携



○ 保護者アンケートの記述

- あたたく見守りつつ、ていねいに指導してくださっているようすが、子どもから聞く話やおたより、授業参観などで伝わっています。

○ 学校関係者評価委員から

- ・小さなことではあるが、学校の取組について改善が進んできている。そのことが子どもたちによい影響を与えていると思う。
- ・環境づくり、人間関係について、多様な体験など、学校の努力が伝わってくる。

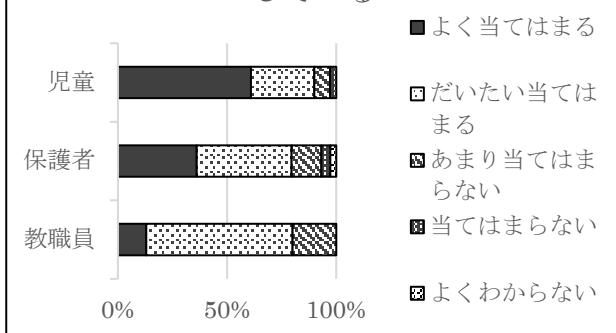


○ 改善の方策

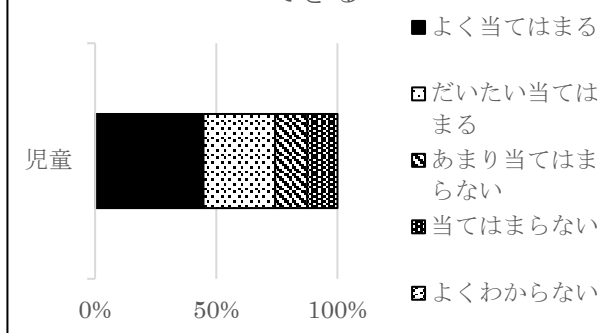
- ・今後も保護者、地域の皆様に学校の様子や情報が伝わるよう情報発信に努めていきます。今年度からA4版1枚のリーフレットで教育活動についてお知らせするようにしました。一部内容を改訂して次年度もリーフレットで教育活動についてお知らせしていきます。
- ・保護者・学校の連携を密にする上でも、学校としてPTA活動のかかわり方を改善していきます。これまで、事務局長・会計・各委員会担当と限られた職員が対応して来ましたが、教員全員が役員会・各委員会の担当となり、保護者の皆様と協力しながら活動できる体制を構築していきます。

6 その他

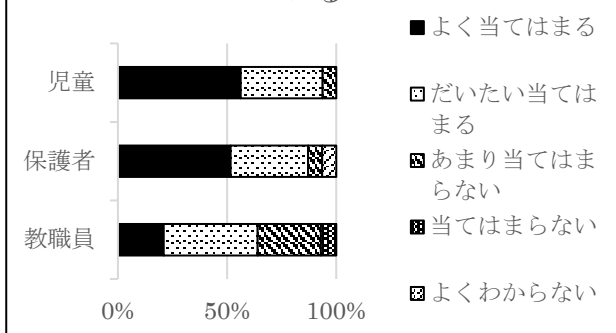
2 学校へ行くことを楽しみにしている



18 困ったことを先生に相談できる



21 小中連携の取組を進めている



○ 保護者アンケートの記述

- 学校生活を楽しんでいるようです。いつもありがとうございます。
- 子どもが集中できる授業を望みます。授業参観日の親のおしゃべり、小さな子の声で集中できないと子どもが言っています。廊下でのおしゃべり禁止、幼児がぐずったら教室を出るなど具体的な提示も必要では。
- 息子やお友達から、先生方の言葉遣いが荒いことを指摘されたことがあります。子どもたち相手のお仕事なので、イラっとくる場面も多くあると思いますが、先生方の言葉遣いを子どもたちは気にしていることをご理解ください。
- 何か問題が起きたときに、何でも禁止をすることが最善の解決方法ではないと思いますし、何度も失敗を経験させることは必ずしもよくないとは思いません。
- 子どものこと、親のことを考えて何事も対応してくれるので安心してしています。感謝の気持ちでいっぱいです。
- 中学校体験の取組がとてもよかったと思います。はじめての中学校。不安が少なくなり楽しみになったと思いました。
- 氏名を書いてしまうとアンケートになるのだろうか？（本当の思いが書けないのでは？）中学校に向けてプレッシャーをあまりかけないほうがよいのではないか？大変なのはわかりますが、楽しみでもあるように接してもいいのかなと思います。
- いつも大変お世話になりまして、心から感謝しております。子どもたちは学校が大好きで、毎日楽しく通わせていただいております。担任の先生は、明るくて大変頼りになる先生です。先生のご指導のおかげで一度も学校生活に不安を感じたことはありません。身体的なことなどの相談にも、いつも親身にたいおうしていただき、心より感謝しております。また、身体的・精神的な問題に、いつも大変親身に相談にのっていただき、修学旅行等でも大変お世話になりまして、本当に感謝しております。妹の先生にも、友達関係の問題がおきたとき、大変親身に対応していただいたおかげで、本人が学校に行かなくならずにすみ、親として本当に安心しました。先生方にお世話になったことを心より感謝しております。本当にありがとうございました。
- 兄弟でのアンケートはどうしてなんですか？1～8に関しては子どもの意見を聞きながら書きましたが、互いにバラバラな答えで、どちらを優先、もしくは妥協することになると思うが、それでアンケートの意味はあるのでしょうか？保護者の負担を減らすためなのかもしれませんが、子ども一人に一枚にしてはどうでしょうか。
- 無意識なのか口が悪い先生がいる。
- 保護者によって態度を変えて接している先生を見ました。子どもたちも見えています。分け隔てない対応をしてほしいと思いました。

○ 学校関係者評価委員から

- ・「働き方改革」が叫ばれる中、教員の状態が理解されていないのではないか。家庭・地域も理解する必要がある。
- ・学校が親身になって対応していることがよく分かる。
- ・特別支援教育について、支援を必要とする子どもたちにとって、重要なものである。特別支援学級・通級指導教室のことについて、参観日をはじめ情報発信をもっとしたほうがよい。
- ・参観日の様子を見てみると、保護者の参観は多いが、しっかり子どもたちの様子を見ているかということが気になった。
- ・先生方から子どもたちへ、がんばったことに対する評価が少ないと感じる。子どもたちの意欲を高めるために、もっと評価をしてほしい。



○ 改善の方策

- ・教員の言動については、その場に応じた適切な言動となるようにしていきます。身を正して今後も指導にあたっていきます。
- ・子ども一人一人と信頼関係を構築し、指導にあたることは必要不可欠です。子どもに寄り添った指導をし、信頼される学校をめざして教育活動を展開していきます。
- ・義務教育9年間でどのような力を身に付けさせていくかということを苦小牧東中学校・若草小学校と確認し、小中連携と取組を推進していきます。
- ・アンケートへの記名や児童数、家庭数での配付については、いろいろな意見があると思います。学校としては、担任の評価ではなく、学校の教育活動への評価を目的としてアンケートを実施しています。また、記名については、保護者の責任ある意見として受け止めていきたいと考えています。質問の項目が変わることがありますが、方法については今後も同様の方法で実施していきますので、ご理解のほど、よろしくをお願いします。